

生産管理システム拡充

テクノア

見積もり機能採用

【岐阜】テクノア（岐阜市、山崎耕治社長）は、中小工場の多品種少量の部品加工に適した自社生産管理システム「TECHS-BK（テックス・ビーケー）」用に、匠技研工業（東京都文京区）製見積もり支援システム「匠フォース」とデータを共有するオプション機能を3月1日に提供開始する。中小製造業のデジタル変革（DX）支援が狙い。消費税抜きの価格は60万円。両社で年間50社のユーザー獲得を目指す。

テックス・ビーケーは年連続で業界首位だった。匠フォースのデータ共有が可能となることで、ユーザーの入力作業の簡素化とともに、高付加価値のデータ活用促進につなげられる。

テクノアは同システムを軸に中小製造業の業務の効率化・高度化を幅広く支援する戦略を展開している。既に生産計画支援、受発注、IoT（モノのインターネット）の画像処理、共同受注などのシステムも提供している。

一方、匠技研工業は22年度は販売本数が7

。主力製品の匠フォースは過去に受注した図面を人工知能（AI）が自動検索し、材料や工程などの記録から新たな引き合い案件の見積もり業務を支援する。得意分野や保有設備などのユーザーの特性に沿った見積もりが自動でできる。

テクノアと匠技研は両システムの連携で23年9月に合意した。今後は展示会など販売促進でも協調し、両システムの機能拡張をアピールする。

TECHS-BKと匠フォースのデータ連携

